

平成31年2月8日（金）
国土交通省関東地方整備局
利根川水系砂防事務所

記者発表資料

『^{さぼう えんてい}砂防堰堤から流れ落ちる流水』の
愛称名を募集！

近年、砂防堰堤は、歴史的な観点や構造物の機能、美しさなどから観光資源として活用されてきています。利根川水系砂防事務所では、砂防堰堤を地域住民及び観光客の皆様により親しんでいただくために、砂防堰堤から流れ落ちる流水の様子に「〇〇〇の滝」というような愛称名をつけたいと考え、下記の4堰堤について、愛称名を募集します。

- 募集期間：平成31年3月29日（金）まで（予定）
- 募集方法：
 - ・利根川水系砂防事務所ホームページより
URL：<http://www.ktr.mlit.go.jp/tonesui/index.html>
 - ・利根川水系砂防事務所ツイッターより
[@ktr-tonesabo](https://twitter.com/ktr-tonesabo)
- 募集堰堤：
 - ①^{はるながわ}榛名川上流砂防堰堤（高崎市榛名山町）
 - ②^{かたしな}片品上流砂防堰堤（利根郡片品村）
 - ③^{まんざがわ}万座川第二砂防堰堤（吾妻郡嬭恋村）
 - ④^{はしくらがわ}橋倉川第二砂防堰堤（多野郡上野村）

記者発表クラブ

竹芝記者クラブ
神奈川建設記者会
長野県庁会見場
佐久記者クラブ

刀水クラブ（群馬県）
テレビ記者会（群馬県）
渋川記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 利根川水系砂防事務所
副所長（技術） 杵淵 新一（きねぶち しんいち）
工事品質管理官 滝沢 晃（たきざわ あきら）
電話：0279-22-4177（代）
FAX：0279-22-4791

さばうえんてい
『砂防堰堤から流れ落ちる流水』の愛称名を募集します！

1. 募集堰堤一覧

<p>はるながわ 榛名川上流砂防堰堤</p>	<p>かたしな 片品上流砂防堰堤</p>
<p>所在地：群馬県高崎市榛名山町</p>	<p>所在地：群馬県利根郡片品村</p>
	
<p>榛名川流域は、昭和10年災害で被害を受け、昭和22年のカスリーン台風でも被害を受けました。これを機に榛名川上流部に建設された砂防堰堤です。本体は粗石コンクリート、表面は矢羽小谷積による練石積、天端は張石が施されています。 築後50年を経過した現在でも、榛名川烏川流域特に、榛名山神社、社家町周辺の土石流災害防止の要として重要な機能を有しています。</p>	<p>片品上流砂防堰堤は昭和35年、片品川本川(片品村戸倉)に完成しました。この砂防堰堤は、建設当時コンクリートの壁のような姿をしていましたが、平成9年の補強工事により擬石を使って自然な石に見える工夫をしている非常に珍しい砂防堰堤です。 写真手前に写っている橋から眺める滝は絶景です。</p>
<p>まんざがわ 万座川第二砂防堰堤</p>	<p>はしくらがわ 橋倉川第二砂防堰堤</p>
<p>所在地：群馬県吾妻郡嬭恋村</p>	<p>所在地：群馬県多野郡上野村</p>
	
<p>万座川第二砂防堰堤は平成5年、吾妻川の支川、万座川(嬭恋村干俣)に完成しました。 万座川の上流には、強酸性の良泉、万座温泉があります。万座川は火山性地質の影響などで極めて強い酸性の水がわき出ています。酸に弱いコンクリート構造物は、腐食するため、表面に石張や耐酸剤等の塗装(ライニング)を施した耐酸工法を用いた砂防堰堤となっています。</p>	<p>橋倉川第二砂防堰堤は平成11年、神流川の支川、橋倉川(上野村勝山・神流町尾附)に完成しました。 この砂防堰堤は、表面を地場産の山波石やみかぼ石などで積み上げ渓谷環境と調和を図る工夫をしています。 また、小学生のアイデアで神流町で発見された恐竜の足跡の主である「山中竜」をモチーフとして砂防堰堤にその姿が浮かび上がるように工夫しましたが、今は、わかりづらくなっています。その姿を想像してみてください。</p>